

事業所名		星の子本城				支援プログラム		作成日		2024 年		11 月		1 日	
法人（事業所）理念		障がいがあっても地域で普通の暮らしを													
支援方針		①自立に向けて トイレや手洗い、荷物の出し入れ・管理、清掃など様々な日常生活動作の中で出来ることを積極的にやってもらうことで将来の自立につながるよう支援します。 ②経験を積む 学校や家庭とは違った環境で色々な事を楽しめる場所となれるようにします。意欲的に何かに取り組む機会を作れるよう、様々なジャンルの活動を提供します。 ③誰かと一緒に 他者との関わりを多く取り、社会性を伸ばせるよう支援します。参加が難しい時も職員が付き添い、無理のない範囲で誰かと関わりを持てるよう工夫します。													
営業時間		8 時		30 分から		17 時		30 分まで		送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	お迎えの際には保護者や学校担任と連携し、変わった様子などがなかったか確認し、通所時には身体チェックや健康観察、水筒の残量確認などを行っています。また、必要に応じて定時での排泄誘導、トイレトレーニング、身だしなみの確認等を行い、基本的生活スキルの獲得が出来る様支援しています。													
	運動・感覚	体操やダンスなどの活動を提供し運動する機会を設けています。また、保有する感覚を十分に活用できるよう、風船バレーやアイロンビーズ等の活動を設定しています。光や音等の環境により活動に参加する事が難しい場合は別室を用意し、同じ活動を楽しめるよう配慮しています。													
	認知・行動	定期的な利用を通じて様子を観察する事でそれぞれの利用者の認知の特性を理解し、適切に情報を受け取り、行動出来るようサポートします。活動ではアイロンビーズや点つなぎ・迷路、塗り絵等を取り入れ、様々な活動を通じて認知機能の発達を促せるよう努めています。他者と関わる中で認知の偏りやコミュニケーションの困難性が見られる場合は適宜支援員が間に入り、どのように行動すべきかを一緒に考え、適切な行動につなげられるよう支援しています。													
	言語 コミュニケーション	まずは集団の中で安全に他者とのコミュニケーションを楽しめるよう努めており、適宜支援員が話題を提供したり気持ちを代弁したりする事でスムーズにコミュニケーションを取れるような雰囲気作りを行います。状況により集団で過ごす事が難しい場合も静かな環境で支援員と過ごす等、誰かとコミュニケーションをとれる機会を確保しています。													
	人間関係 社会性	利用者本人との関わりや他者との関わりの観察等から、利用していく中で安心して過ごせる環境を作れるよう、支援員間で情報共有しながら支援方法を検討しています。集団での活動の中で他の利用者と協力したり、それぞれの能力や特性にあった役割を担ったり出来る様にし、社会性の発達を支援しています。													
家族支援		対応方法などの個別の相談があった場合は日々の支援内容をもとに助言を行っています。							移行支援		学校との情報共有や併用先や移行先との情報共有を積極的に行っています。				
地域支援・地域連携		利用している相談支援事業所とはモニタリングを通じて定期的に連絡を取っています。その他必要があれば、子ども総合センターや療育センター、発達障害者支援センター等とも協力しています。							職員の質の向上		・感染対策、虐待防止などの各種法定研修 ・北九州市社会福祉研修所、福祉・介護研修センターでの外部研修 ・月例会議での事例検討				
主な行事等		星の子祭 月2回の調理活動 季節の行事													